

1. 渋谷駅周辺広場空間等検討委員会(25/10/24, 26/2/9)の報告

■2025年度 渋谷駅周辺広場空間等検討委員会 確定事項 【地上部】

① 階段計画

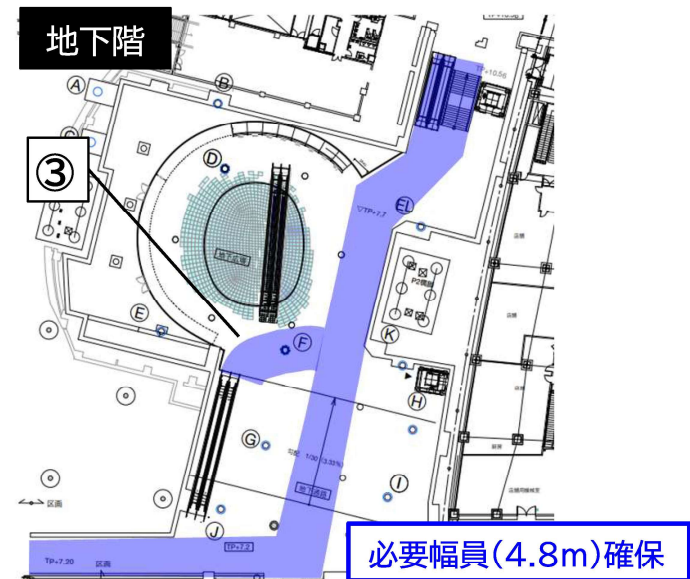
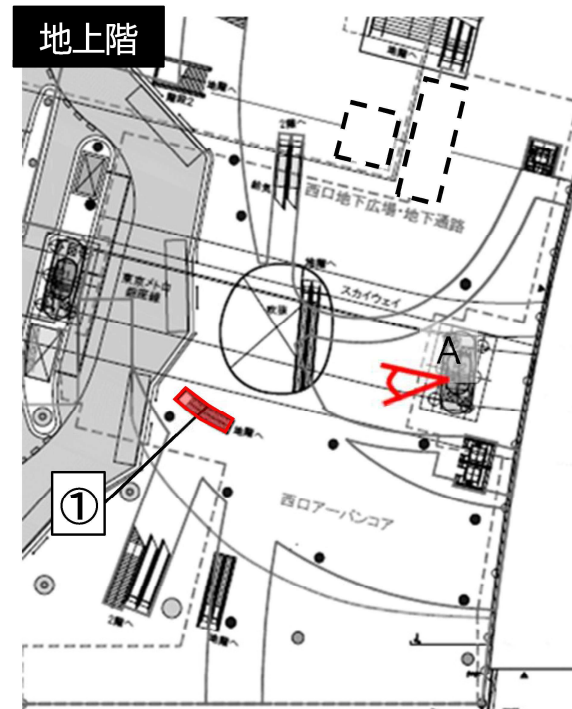
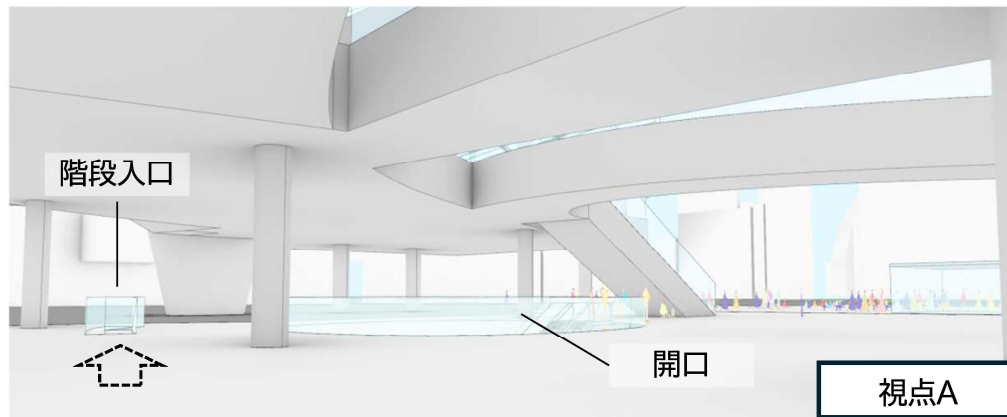
- ・地上部出入口位置
→開口部北側から南側への変更により、地上部でのボトルネックを解消

② 地上設備配置方針【P4にて詳細を説明】

- 地上動線や景観に配慮した配置及び高さの低減を実施

③ 地下広場への降雨影響を考慮した地上の常設屋根の有無

- ・想定雨水流入範囲外で必要通行幅員(4.8m)を確保できるため、地上広場の視線の抜けを考慮し、常設屋根は設置しない
- ・地下広場の運用を踏まえ、イベント時等は仮設の雨避け設置等の対応を今後検討



1. 渋谷駅周辺広場空間等検討委員会(25/10/24, 26/2/9)の報告

■2025年度 渋谷駅周辺広場空間等検討委員会 確定事項【地下部】

① 階段計画

- ・デザイン
→開口に沿うように広場を見渡す形で配置し、地下広場を望む栈敷席のような階段
- ・幅員
→基準及びイベント時利用形態を考慮し、有効幅員:1.5mで計画

② 柱本数の削減

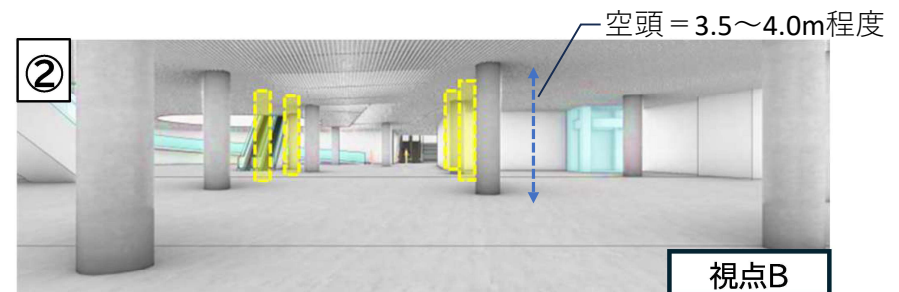
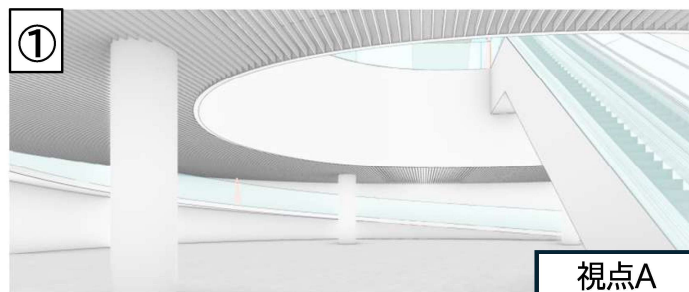
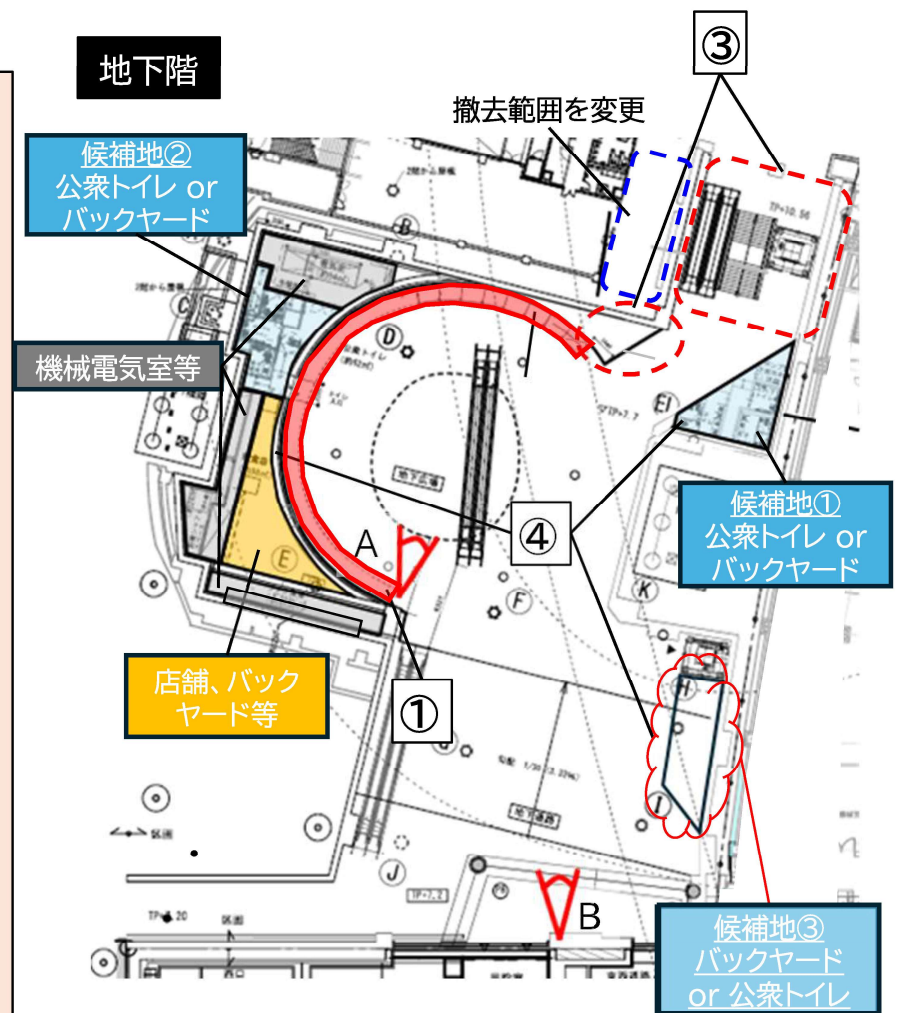
- ・梁構造の工夫により、広場内柱本数を23本→17本に削減

③ 通路北側幅員

- ・当初撤去を予定していた渋谷地下街の消火ポンプ室を既存のままとすることにより、渋谷地下街の設備を地下に収めることができ、地上設備の高さ抑制を実現
- ・その結果、既存躯体の撤去範囲が変更となり、通路幅員を右記の通り確定
- ・地下通路からの視認性を考慮し、地下広場部への隅切りを配置

④ 地下広場内設備の配置方針

- ・開口部からの給気により、換気設備の小規模化および機械電気室の縮小化
- ・階段裏スペースや動線に支障しないスペースを有効活用し、公衆トイレやバックヤード、店舗等を配置する方針



しぶちか設備機器の本設対応について

しぶちか設備機器の配置について、法規・技術的・安全面から無余地性の検証を行った
渋谷区土木部と協議の上、無余地性および街並みへの配慮の観点から、下記の通り地上への配置について確認した

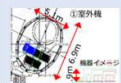
候補地：【1】地下街施設内【2】新施設（他施設）【3】既存施設（他施設）【4】階段上屋上部【5】交通島【6】歩道

余地内

無余地性による検討順序

やむを得ない
(無余地)

自施設	他施設		屋外階段上屋	道路	
【1】地下街施設内	【2】新施設	【3】既存施設	【4】階段上屋上部	【5】交通島	【6】歩道



①空調室外機
1470×720×1,900H 2台
920×740×1,650H 1台
795×300×595H 1台

①空調室外機

地下街に近い階段上屋上部において、サイズ・機能的に街並みを阻害しない計画が見込める。



【4】階段上屋上部



②熱源関係
チラー
1,000×3,300×2,350H 7台
冷却塔
3,800×2,200×4,350H 1台

②熱源関係

法的な制約がある設備。かつサイズが大きくスペース確保が難しい。街並みを阻害しない視点が課題である。



熱源（チラー）
【5】交通島
熱源（熱交換器）
【1】地下街施設内（自施設）



③排気口
1,500×1,500×4,350H
(厨房排気ダクト 1,750×900)
(排気ダクト 400×350)

③排気口

ダクトルートの確保が難しい。また機器サイズも大きく街並みを阻害しない視点が課題である。



【5】交通島



④給気口
1,500×1,500×4,350H
(給気ダクト 2,400×900)

④給気口

ダクトルートの確保が難しい。また機器サイズも大きく街並みを阻害しない視点が課題である。



【6】歩道
*アーバンコア階段下



⑤排煙口・排煙ファン
1,000×1,200×4,350H
(排煙ダクト850×900)
(縦衝帯等排煙ダクト600×400)
排煙ファン
1,300×2,200×1,900H 1台
900×900×900H 1台

⑤排煙口・排煙ファン

地下街に近い階段上屋上部において、サイズ・機能的に街並みを阻害しない計画が見込める。



【4】階段上屋上部



⑥非常用発電機
6,300×1,600×3,200H

⑥非常用発電機

法的な制約がある設備。かつサイズが大きくスペース確保が難しい。街並みを阻害しない視点が課題である。



【5】交通島



⑦消火水槽・消火ポンプ
消火水槽
3,000×6,000×3,200H (架台込)
SPポンプ
800×2,000×1,800H (架台込)
屋内消火栓ポンプ
550×1,100×1,300H (架台込)
ジョッキポンプ
800×1,100×1,300H 2台 (架台込)

⑦消火水槽・消火ポンプ

東急電鉄施設内に設置（既存位置のまま）



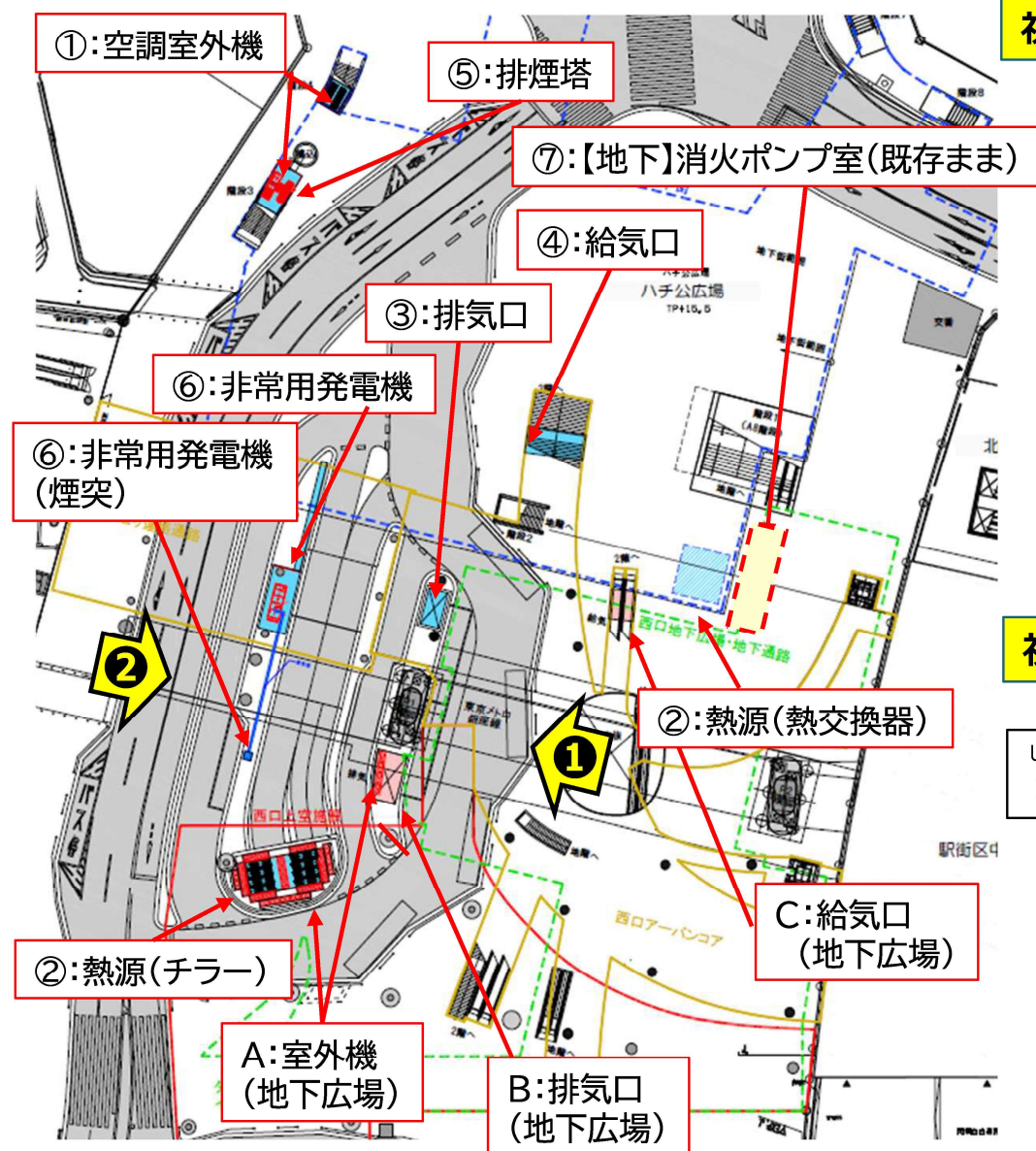
【3】既存施設 *地下

<機器サイズは既存のもの>

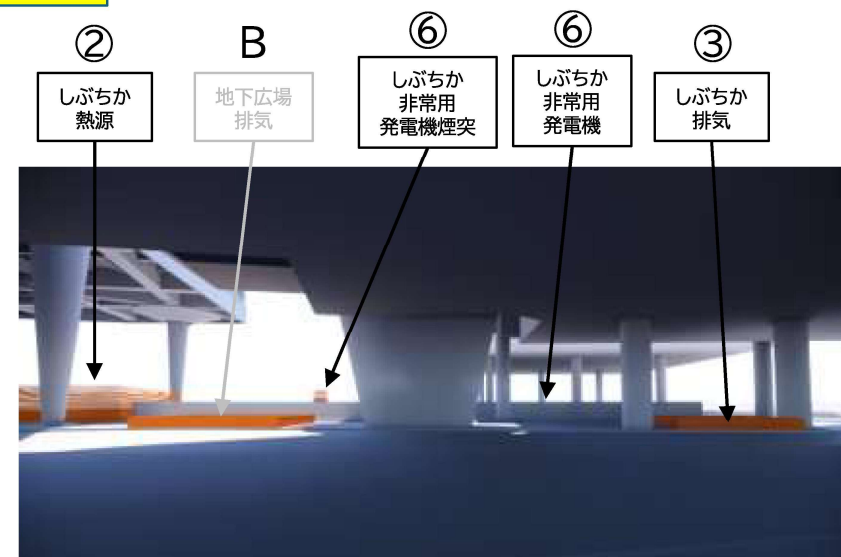
3. 地上設備配置(西口地下広場・通路、渋谷地下街設備)の方針確定

■地上設備配置方針の確定

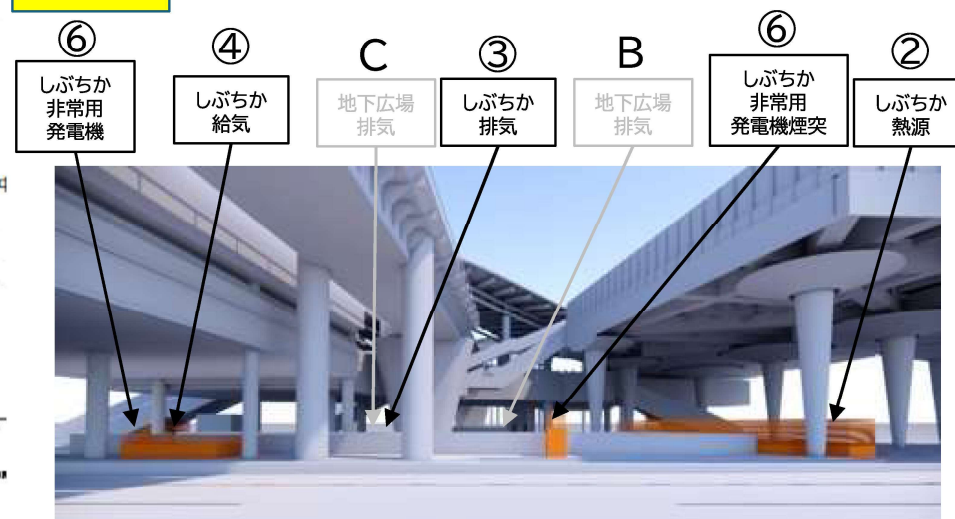
→地上動線や景観に配慮した配置及び高さの低減を実施。地下への設備配置を含めて検討し、確定。今後、詳細設計等を実施。



視点①



視点②



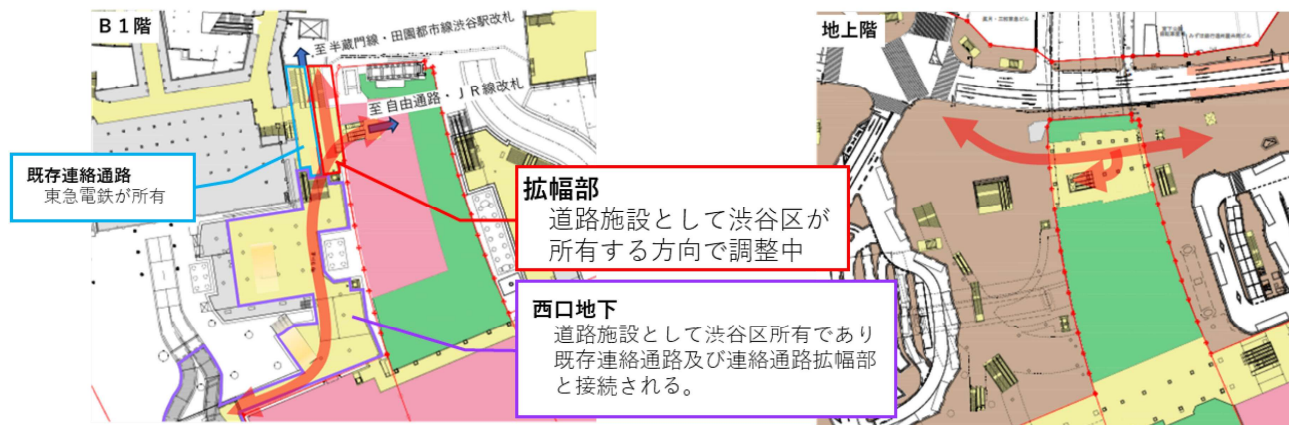
(2) 西口地下通路（鉄道接続部）（鉄道事業者）

2025年2月21日に開催された、第58回 公共施設調整分科会において、以下の課題認識・方針確認を行った。

- ① 地下通路拡幅部、B1～B2の増設部は道路施設として渋谷区にて所有することについて検討していく。
- ② B1～B2ESCにおける施設計画は、将来交通量に対し、ESC3基整備することで処理能力は満足するため、ESCは3基整備することとし、流動や防災の観点などから施設配置は継続検討とする。

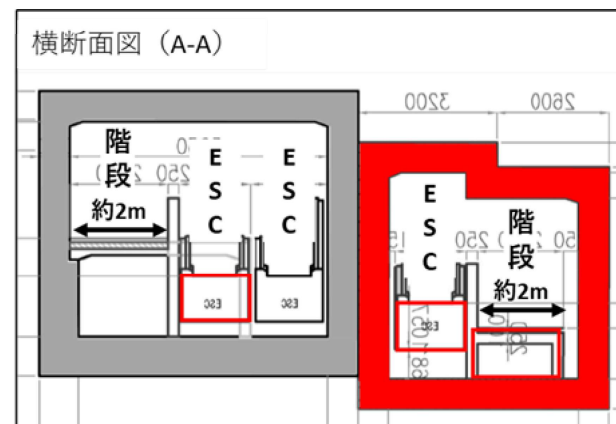
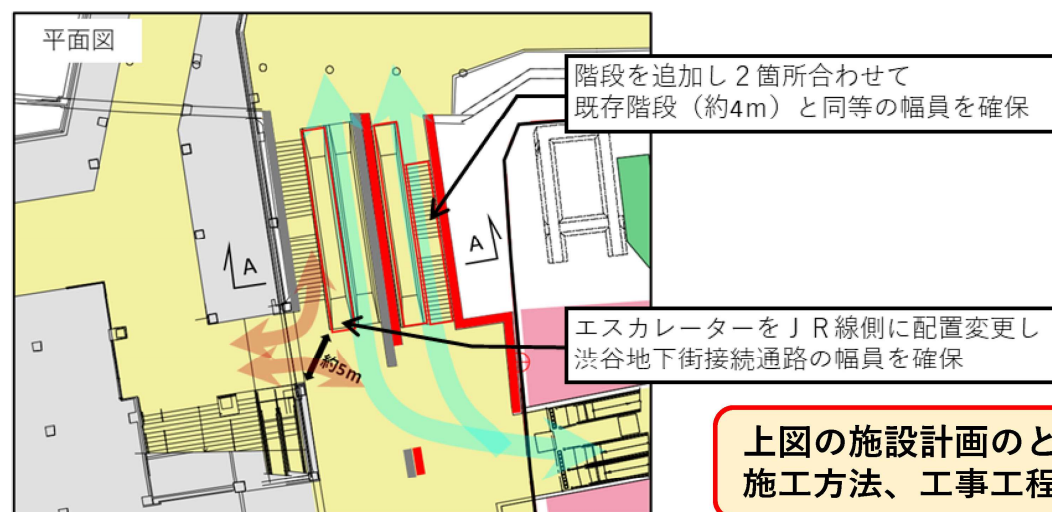
※第58回公共施設調整分科会 資料抜粋

①地下通路拡幅部、B1～B2の増設部の施設管理者および所有者



西口地下と鉄道駅及び地上の北側自由通路との繋ぎの重要性に鑑み、下図に示す連絡通路の歩行者の流動確保等の観点から各施設への接続点となる**拡幅部は道路施設として渋谷区が所有する方向で継続調整中。**また**管理主体は鉄道事業者**とし、運用等詳細については西口地下も含め連携調整し継続検討。

②特区提案時からの計画見直し (B1～B2ESCにおける施設計画)

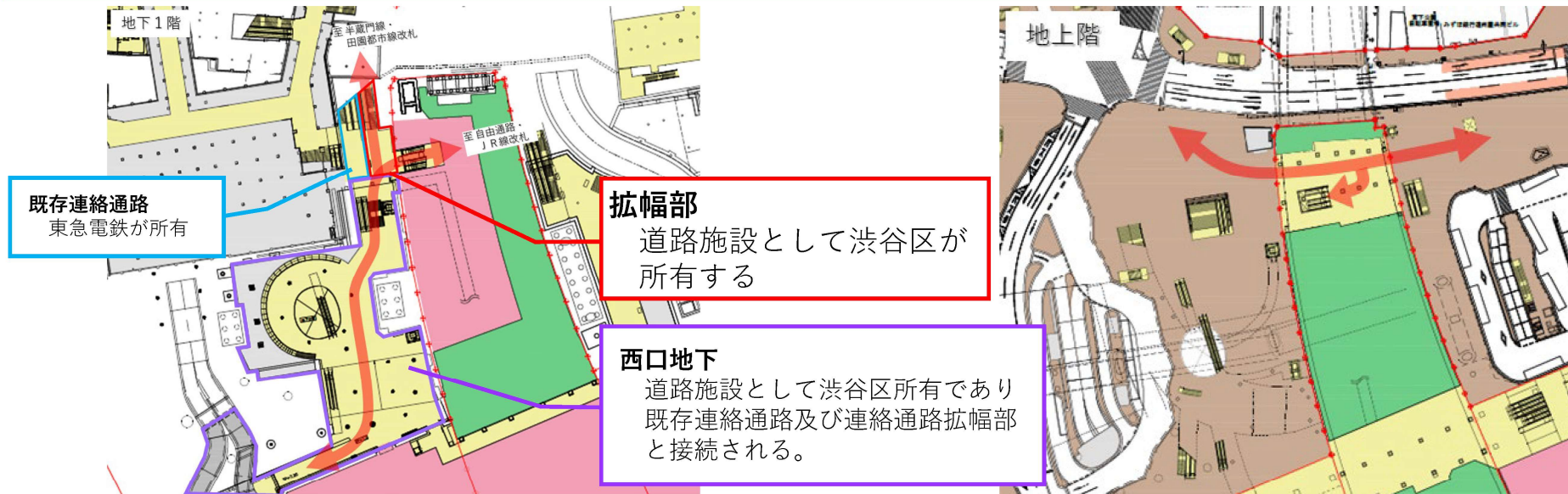


上図の施設計画のとおり『階段+ESC3基+階段』の施設配置を基本とし、施工方法、工事工程等詳細について検討を深化していきたい。

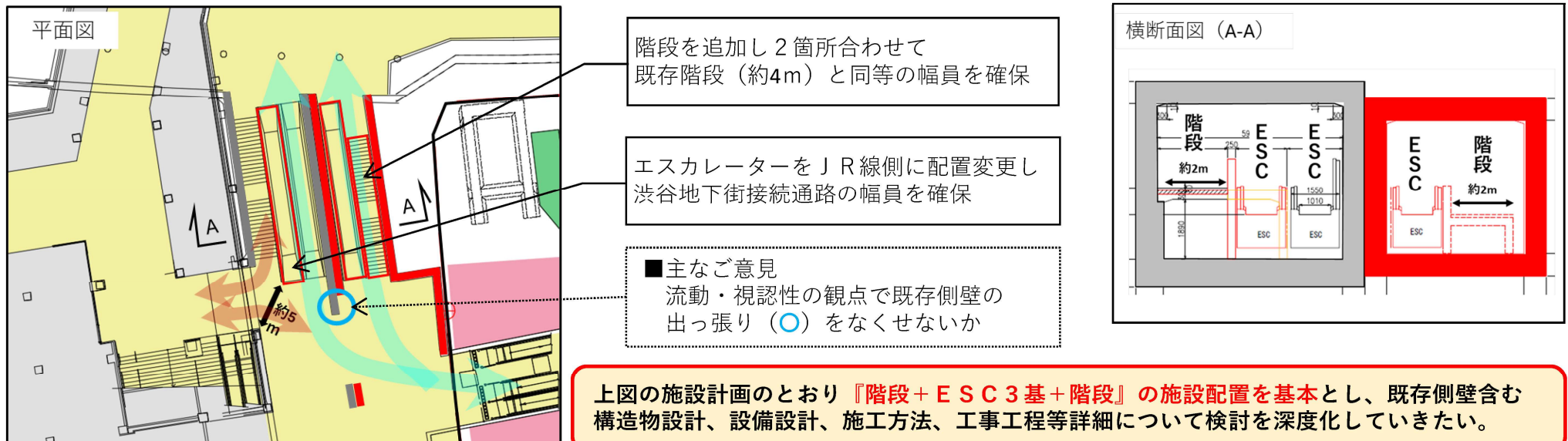
(2) 西口地下通路（鉄道接続部）（鉄道事業者）

① 地下通路拡幅部、B1～B2の増設部の施設管理者および所有者

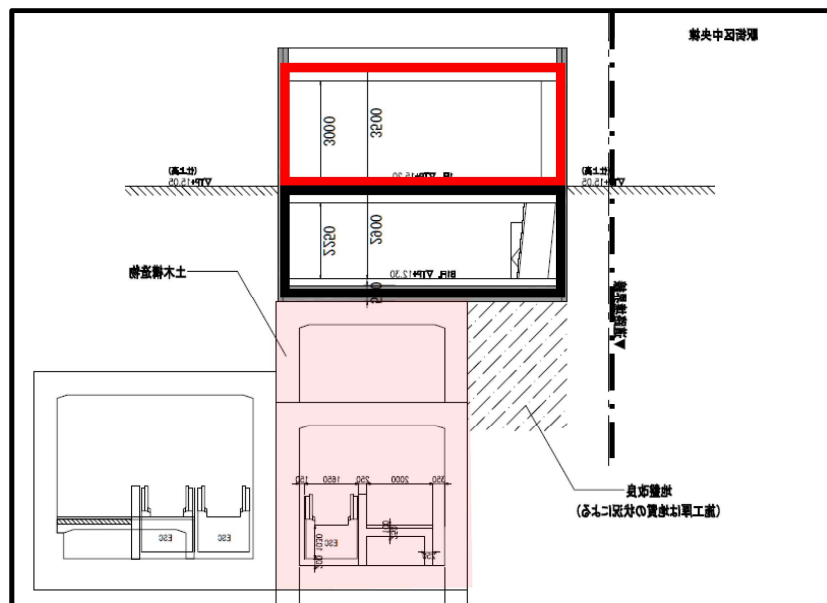
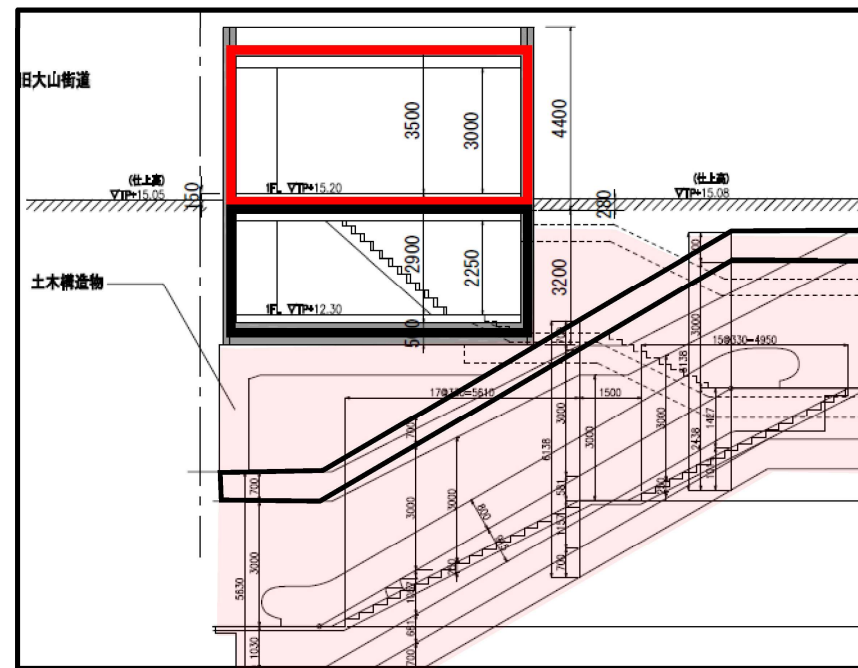
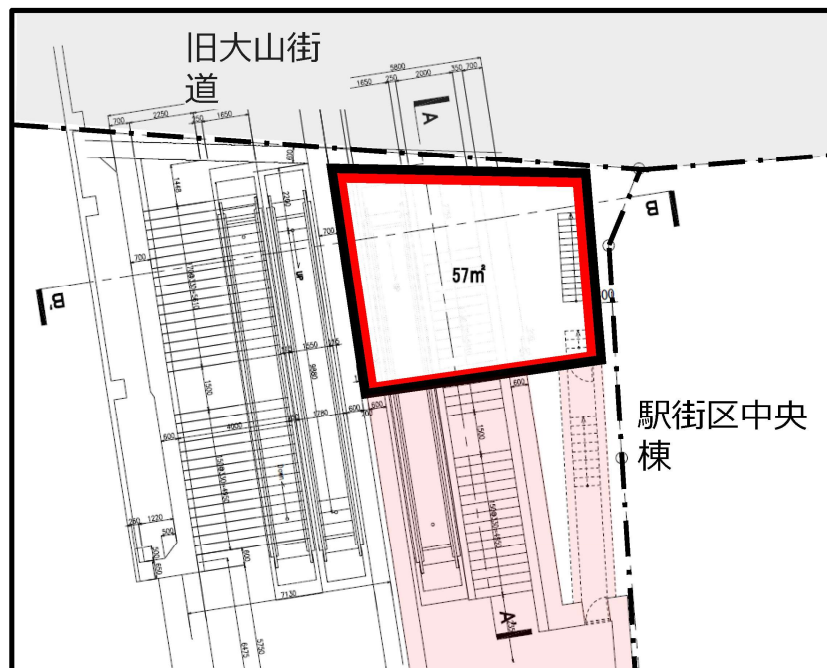
西口地下と鉄道駅及び地上の北側自由通路との繋ぎの重要性に鑑み、下図に示す連絡通路の歩行者の流動確保等の観点から各施設への接続点となる**拡幅部は道路施設として渋谷区が所有**する。
また**管理主体は鉄道事業者**とし、運用等詳細については継続検討。



② 特区提案時からの計画見直し (B1～B2ESCにおける施設計画)



渋谷駅前交番の本設置について



令和7年度の検討状況

- ・現交番と同様の位置にて本設置
- ・地下及び地上1層ずつの2階建てで警視庁了承済み
- ・警視庁、消防等の関係者協議を今後継続

※関係者協議により建築範囲等の変更の可能性あり

観光案内所及び渋谷区憲章ボードの設置位置検討



観光案内所

⇒ 多数の観光客に対応できる規模で、
交番に集中している道案内を案内所が対応できる位置

渋谷区憲章ボード
(広告利用)

⇒ 今後も広告掲出による収益があげられる位置

